

梅小路に路線バス集結 多くの家族連れでにぎわう

「バスのまち京都フェス」

京都市は9月27日、京都市下京区の梅小路公園・七条入口広場で、バスのまち京都フェスイベントを開催した。9月20日のバスの日にちなんだもの。路線バスに親しむ機会を提供することによりバスの利用を促す一方、職業としてバス運転士のイメージアップを図ると同時に、将来の担い手確保につなげるのが狙い。

京都府バス協会(三浦達也会長)や近畿運輸局、京都府も協力した。「路線バスに親しむ」をテーマに、車両展示やスタンプリ、バスに関連するクイズ大会などを実施。2024年秋に公開された日本一のバス運転士を目指す女性の成長ストーリーを描いた映画「つぎとまります」の上映も行われた。

バス運転士への就職を呼び掛ける広告をラッピングするバスをラッピング。併せて、各社のブースには就職相談会コーナー

も設けられ、業務内容などについて担当者から熱心に聞く人の姿もみられたほか、近運局と京バス協のブースでは、バリアフリーに対する取り組みや考え方を広くPRした。秋晴れの下、多くの家族連れがバスと記念写真を撮影したり、運転席に座り運転士気分を楽しんだりと終日にぎわいをみ



車体には就職を呼び掛けるラッピング。本日のバス運転士を目指す女性の成長ストーリーを描いた映画「つぎとまります」の上映も行われた。展示された路線バスの車体には緊急輸送道路として避難

堀川BP整備連 堀川通機能強化促進会 国交省に早期整備要望

京都選出の国会議員らでつくる堀川バイパス整備促進議員連盟(西田昌司会長)は9月21日に開いた総会で、堀川通の機能強化へ向けた決議案を採択した。

や救助、物資輸送の根幹を担うなど命と暮らしを守る重要な幹線道路——と位置付けている。一方、交通需要に対して容量が不足し、ボトルネック箇所や主要交差点を中心に慢性的な渋滞が発生し、「日常生活や企業活動に影響を与えている」と指摘。物流の効率化による生産性向上、

堀川通は京都市中心部を南北に結び、人流・物流、社会経済活動を支えるとともに、災害時には緊急輸送道路として避難

京都府交通対策協議会(西脇隆俊会長、府知事は9月19日、秋の全国交通安全運動の開始を前に

事故防止む

交対協 交安



秋の全国交通安全運動

京都府交通対策協議会

アクティブファーム

アクティブファーム(石川均社長、大阪府大東市)は9月22日、四條畷警察署管内無事故・無違反チャレンジコンテストで最優秀賞を獲得した。



表彰状を手にする小倉課長

無事故・無違反コンで最優秀賞

コンテストは24年10月から今年3月までの6カ月間、無事故・無違反を目指したもので、5人1組がグループをつくり目標達成に向け挑戦した。全体では55事業者、50グループが参加。同社からは2グループがエントリーした。

22日に行われた表彰式には、同社統括管理部長総務課長の小倉幸さんが出席。四條畷署の山岡一馬署長から賞状を受け取った。山岡署長は「6カ月間、一丸となって交通安全に取り組んだ結果。引き続き適正な運行管理や安全管理をお願いしたい」と総評した。

小倉課長は「今回の受賞を励みに、これからも無事故・無違反に取り組み、さらなる安全運行に努めていきたい」と話している。

スタート式を開き、関係者らと共に事故防止に向け機運を醸成した。

府文化生活部の小林亨子副部長は「事故のない